

限りある水道水を守りたい

行仁小学校 六年 加藤 愛莉

毎日あたり前に使っている水道水ですが、人間が使える水には限りがある事を、本を読んで初めて知りました。そして、その大切な限りある水も残念ながら汚れてしまっている事も本に書いてありました。家庭から出る生活排水と工場排水が主な原因だそうです。また、農業で使われる農薬や家畜のふん尿、車の洗車なども水を汚す原因のひとつだと本やインターネットにのっていました。

人間が人間らしい生活をするために最低限必要な生活用水は一人一日あたり五十リットルです。しかし、日本人は一日あたり三百二十リットルの水を使っていることがわかりました。そこで私はどうすれば水を節約する事ができるのか、そして大切な水を汚さないようにできるのか考えました。節水は誰でもすぐにできます。なぜなら節水の決め手は蛇口の開け閉めだからです。考えてみると学校で

手を洗う時も水を流したままにしないようにしたり、家でもお風呂に入って体を洗っている時もシャワーの水を止めるなど、少し気を付ければ誰でも節水する事ができます。私の家では手を洗う時、むだな水を使わないように蛇口がタッチレス水洗になっっています。最近では生活に使う電化製品も節水型になっっているので、たくさん水を節約する事ができます。

次に家庭排水からの汚染についても考えて

みました。生活排水は、川や湖などの汚染の大きな原因になっっているのですが、家庭でのちょっとした工夫で水の汚れを減らすことができるそうです。台所での基本は「油は絶対に流さない」「食べ残し、飲み残しを出さない」「合成洗剤の使用量を減らす」「食器やなべ等のひどい汚れや油は紙等で拭いてから洗うようにすること」など、本やインターネッ트에たくさん載っていました。そのためにできる具体的な工夫について調べてみました。

廃油は新聞紙にしみこませると可燃物として出すことができたり、地域で廃油回収している所もあるそうです。スーパーでは食用油廃油処理剤も売っているのので燃えるゴミとして処分する事もできます。お皿についた汚れは不要な紙や布でふき取ると洗剤の使用量を減らす事ができ、水の汚染を防ぐ事ができます。去年の事です。家でテレビを観ていたら水道水からシンナーや油のにおいがするといふユニコーンを目にしました。その地域に住ん

でいる人達は水道水が使えず、とても困った様子でした。気になつてユニコーンを見続けました。どうなつたのかなと思つたら、その地域では給水車を出すなどの対応をしていました。

このように、いつもあたり前のように使っている水道水ですが、いざ使えなくなるととても困ります。私達は限りある大切な水を節約したり、汚染を防いだりして、みんなでいっも感謝しながら使わなければいけないと

改めて感じました。私は、これから貴重な水道水を意識して大切に使いたいと思います。